

リーディングDXスクール事業【実践事例】

京都市立八条中学校（京都府）

【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用」

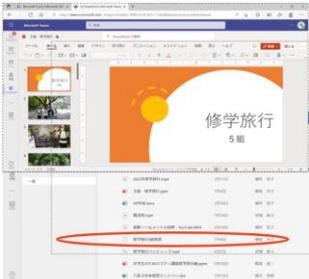
- 1学期中に、全教職員が「共有」をキーワードにクラウドを活用した一人一人の子どもが意見を出しやすい授業実践にチャレンジ、成果のあった取組と今後の課題について教職員間で共有する際にもクラウドを最大限活用した。
(⇒2学期は「個別最適化」をキーワードに取組中！)

(教職員間で共有した取組実践) ※一部抜粋

教科・学年	取組の様子	取組の内容 (どのような場面で「共有」し成果があったか)	課題
美術 (3年)		<p>【取組】 印象派の絵画について、生徒が調べたこと、感じたことをクラウド上の共有ノートに書き込んでいった。</p> <p>【成果】 各自が調べた様々な情報や感じ方を共有できた。さらに、それを踏まえて、より踏み込んだ情報や感じ方を書き込んでいく生徒もいた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 他の生徒の意見ばかりに興味を持ち、自分の学習に向かない生徒もいた。 評価にどうやってつなげていくか難しいと感じた。
保健体育科 (1・3年)		<p>【取組】 ①器械運動の始めに、各自の目標（難しい技に取り組みたい、基本の技が上手になりたい等）に関する生徒アンケートを実施した。 ②器械運動の授業中に撮影を行い、クラウド上で共有した。</p> <p>【成果】 ①生徒も集約結果を確認でき、狙いをもって器械運動に取り組む意識付けにつながった。 ②生徒が好きなときに自分の動きを確認したり、他者の動きを振り返ることができた。また、評価の際に指導者も見返すことができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 撮影に時間がかかり、実技の時間確保が短くなってしまった。 端末の不調や、家に忘れてきた生徒の対応が必要となった。
理科 (1年)		<p>【取組】 ①生物の分類の授業で、フィールドワークを行った後、身の回りの生物をどのような観点で分類できるかを班で話し合い、クラウド上の共有ノートで分類シートを作成した。 ②アサリの解剖を行う際、写真や気づいたことをレポートにまとめクラウド上で共有した。</p> <p>【成果】 ①②ともに、クラウド上で共有することで、互いの考えを交流したり、あとから振り返りを行う際に有用だった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> タブレットの操作に慣れるまでは支援が必要で時間がかかった。授業の中でスムーズに使えるように指導していきたい。

【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用」

(教職員間で共有した取組実践) ※一部抜粋

教科・学年	取組の様子	取組の内容 (どのような場面で「共有」し成果があったか)	課題
<p>国語科 (3年)</p>	 <p>【意識したこと】 文字のバランスや大きさに意識しました。また、横ひねりなどの三点を丁寧に書きました。 一枚目は文字のバランスや半紙の使い方が下手だったので気を付けました。</p> <p>【目標を掲げて作業をよりゆとりよく】 一度目に書いた物の取組点を覚えることで、自分の取組が分かりやすくなり、改善することができました。 また、書き足りない字や半紙の向きに注意することが大切だと気付いたので、次回この事を活かしたいと思います。</p>	<p>【取組】 書写の時間、一枚目と最後の一枚の写真を撮ることで自分の作品を客観的に評価できるようにした。</p> <p>【成果】 自分の作品を客観的に把握・比較することで、くせや授業内での自分の変化を見取りやすくなった。また、次時の活動や事後の振り返りにも活かすことができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今回は個人で完結する取組となったが、今後はクラス全体で共有し、より客観的なアドバイスを互いにし合う学習につなげたい。
<p>数学科 (2年)</p>		<p>【取組】 生徒が撮影したプリント課題をクラウド上で共有し、いくつかの考え方を全体の前で紹介した。周りの人と交流し自分の考えとの比較を行った。</p> <p>【成果】 いくつかの考えを紹介することで、問題を考える思考の幅が広がり、意欲的に課題に取り組むことができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒同士の意見交流をさらに促すためのアンケート活用にも努めていきたい。
<p>総合的な学習の時間 (3年)</p>		<p>【取組】 修学旅行に関する調べ学習の時間に、どこを見学したいか、お土産は何を買いたいかを各自で調べ、その結果をクラウド上で共有した。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの好みが違うことがすぐに分かり、時間に制限があることなどを考えると、全員の要求を満たすことは無理なことが分かった。 その後、各自が自分の行きたい所をアピールするために端末を使って発表する活動につなげることができた。また、協働的な学びの中で決定したルートだったので、当日も全員納得の上で行動することが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表する活動の際、指導者が未熟で上手く編集出来なかった。